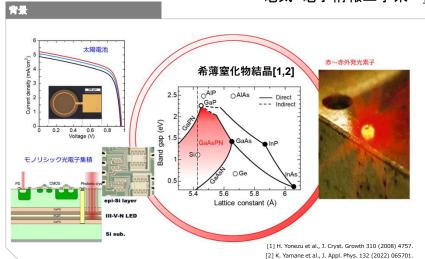


# III-V希薄窒化物混晶の成長過程における アンチモンサーファクタント効果



#### 電気・電子情報工学系 山根啓輔



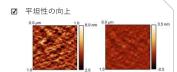


GalnNAs[3,4], GaPN[5]のSb添加効果

Ш	IV	V
5 B	<sup>6</sup> C	7 N
13 AI	14 Si	15 P
31 Ga	32 Ge	<sup>33</sup> As
<sup>49</sup> In	50 Sn	<sup>51</sup> Sb

	GalnNAs	GaPN (本研究)
母材	ヒ素系	リン系
Sb組成	10%以上も実 施例あり	0.4% (1×10 <sup>20</sup> cm <sup>-3</sup> が固溶限?)
Shの偏析	小	偏析傾向あり?

Sb添加III-V-N混晶の結晶性向上メカ ニズムの解明に向け、リン系Sb. Nの 取り込み様式を考察する



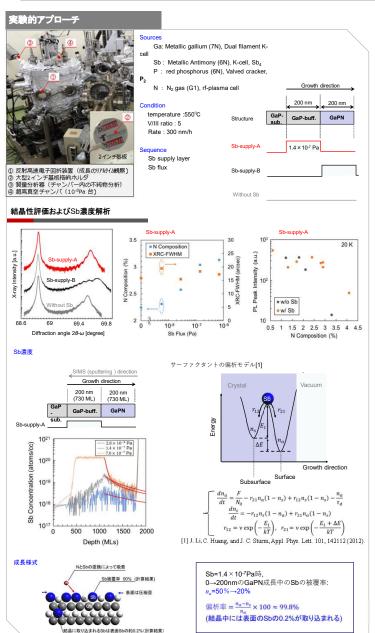
☑ PL強度改善



☑ N取り込み効率の向上

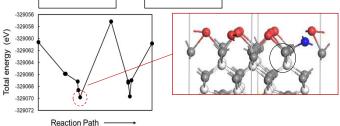
[3] N. Miyashita et al., Solar Energy Materials & Solar Cells 111 (2013) 127.

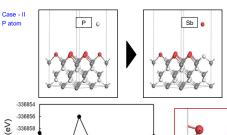
[4] N. Ahshan, et al., Int. J. Soc. Mater. Eng. Resour 25, 157 (2022) [5]彦坂他, 第83回応用物理学会秋季学術講演会, 20p-A307-7, 2022



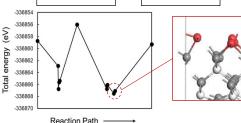
## **運輸的アプローチ** Sb表面への原子吸着の**遷移状態解析** Sb N 8 -329056 -329058 (eV) -329060 -329062

供給されたNはSbと入れ替わるよ り下図のように取り込まれた方が エネルギー的に安定





Pも同様にSbと入れ替わるより 下図のように取り込まれた方が エネルギー的に安定



### まとめ

アンチモン添加希薄窒化物結晶の高品質化メカニズムを実験と理論解析を通し て明らかにした

☑ Sb供給層と結晶性の関係

⇒ Sb供給層/GaPN層分離でN均一化

☑ SbフラックスとN組成の関係 ⇒ Sbフラックス増加でN組成増加

☑ Sb濃度のSIMS分布解析

⇒ 偏析率 (99.8%), 表面Sb被覆率(50%)

## 【謝辞】

本研究は豊橋技術科学大学IRES、VBL施設を利用して実施された。本研究の一部は科研費挑戦的研究(萌芽 23K17746)、服部報公会およびマツダ財団の助成のもとに行われた.